

増えています！リチウムイオン電池火災



スマートフォン、コードレス掃除機、電動アシスト自転車など、身近で多くの機器に使われているリチウムイオン電池。今年2月に池袋駅山手線車内でリチウムイオン電池を搭載したモバイルバッテリーが燃える火災が発生し、多くのメディアが報道しました。

今、この電池の不適切な使用、廃棄による火災が増えていることから、3月4日（月）巣鴨地域文化創造館において、初期消火訓練、住警器の点検指導に加え、リチウムイオン電池の火災予防広報を実施しました。参加者からは「衝撃に弱いのか…?」「あら、捨てちゃいけないのか?」などの質問が相次ぎました。当署では、今後も強力に広報を展開し、廃棄方法などについてお知らせしてまいります。